

みんなで がんのことを学ぼう ～親子で育む「健やか力」～

【子どもも大人もがんを知ろう！
健康あおり推進事業】

がんは、決して助からない病気ではありません。早期の段階で発見できれば、治療することができます。そのためには、がんに対する正しい知識を身に付け、がん検診を受け、そして適切に対処することが大切です。しかし、県民のがん検診受診率は、目標とする50%に届いていないため、その向上が課題となっています。

そのため、県では、受診率の向上に向け、「親子」をキーワードとした新たな取組をスタートさせます。具体的には、「がん予防展」の開催などを通じ、親子で気軽に知識を学び、生活習慣を見直すきっかけをつくることで、健康や検診への関心を高めます。

がんを予防するには、自らの心掛けがとても大切です。自分のため、そして、大切な子どもたちのためにも、親子でがん予防や家族の健康づくりについて学び、生活習慣の改善に取り組み、がん検診を積極的に受診してみませんか。

もっと広めよう！ 青森の食 ～青森の美味しさを全国へ～

【青森プレミアム産品
マッチング推進事業】

平成27年度から、青森の優れた食材を新鮮なまま輸送できる「A!Premium」(エープレミアム)が始まりました。国内での翌日午前配達エリアが、それまでの東北地域から西日本地域まで大幅に拡大し、青森のプレミアム食材を多くの皆さんに楽しんでもらえるようになりました。

この「A!Premium」開始を契機に、西日本地域で本県の食を広める取組が本格的にスタートします。既に青森県フェアなどを通じて県産品の良さを知り、取引に関心を持つ業者もいますが、この輸送サービスを活用した県産品のPRや通常取引に向けた商談会の開催、高級店向けの売り込みなど、攻めの姿勢で販売促進活動を展開し、取引先の開拓と流通量の拡大を目指します。

県内の「A!Premium」対応店舗で県産品を購入すれば、誰でも新鮮な食材を西日本地域に住む親戚や知人へ送ることができます。ぜひ、私たちの自慢である青森の食を大切な人に贈ってみませんか。

県民みんなで取り組む 予防を重視した 健康づくり

健

健康長寿県プロジェクトでは、県民の平均寿命と健康寿命を延ばすことを目指しています。

これまで、「健やか力(ヘルスリテラシー)」の普及・定着の取組を進めてきたほか、県産食材を活用した「だし活」、

病による死亡を減らす取組や、若いうちからの食生活の改善、運動の習慣づけを一層充実・強化していきます。

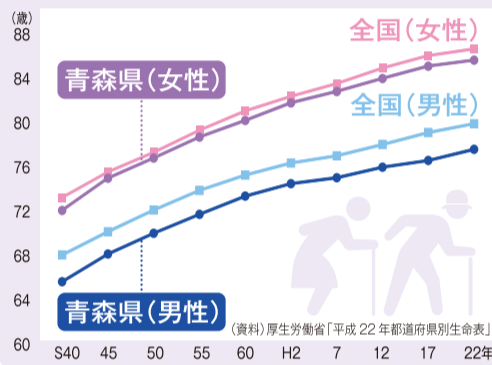
また、医師や看護師の不足に対応するため、若手医師やUIJターンの医師の県内定着を促す体制づくりや、看護師の育成・定着に向けて資格取得を支援する仕組みづくりなどに力を入れていきます。そのほか、成長するライフ関連産業のステップアップに向けた取組も引き続き進めていきます。

「あおり食命人」等による食生活の改善や、自然を活用した運動の働きかけ、地域の保健・医療・福祉体制の強化なども進めてきました。

平成28年度は、本県の平均寿命を押し下げているがんや生活習慣

健康長寿県プロジェクト 29事業 3.2億円

全国最下位の平均寿命



これまでの成果

保健・医療・福祉包括ケアシステムの着実な普及

「だし活」「あおり食命人」の展開

【あおり食命人登録】H26年1月:130人→H28年2月:177人

ライフイノベーション戦略の展開

【医療機器生産額】H20:284億円→H25:444億円

【プリテオグリカン関連累計出荷額】H24:6億円→H26:73億円

攻めの姿勢で、 ”とことん”青森の食を 広めていきます

食

でとことんプロジェクトは、その名のとおり、本県の強みである食をとことん伸ばしていくことを目的に取組を進めています。

鮮やかなデビューを果たした特A米「青天の霹靂」をはじめとした県産品のブランド化やりんごの年間輸出量3万トンの達成などの成果を出してきました。

平成28年度は、これらの取組を加速させ、「青天の霹靂」のブランドを確かなものとするためのPR活動と、生産者全員

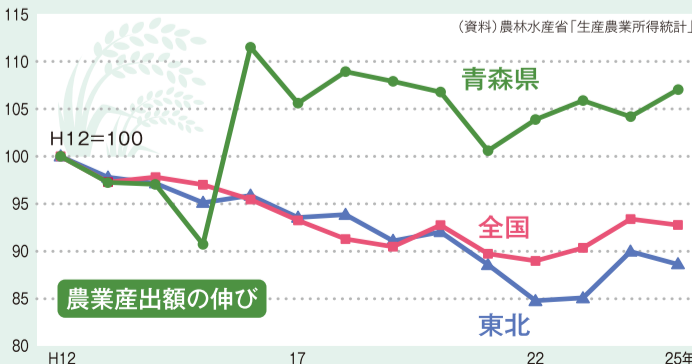
が出荷基準をクリアできるような生産体制を強化していきます。また、りんごの輸出促進については、産地の体制整備や輸出を担う生産者の育成も進めます。

そのほか、野菜などの導入による水田農業の複合化を進め、農家の所得向上を目指す取組や、農家の労働力不足を補うための仕組みづくりにも力を入れます。

今年度も、攻めの姿勢で、国内外に青森県の素晴らしい食をとことん広めていきます。

食でとことんプロジェクト 44事業 5.0億円

本県の農業産出額の伸び率は全国トップクラス



これまでの成果

「青天の霹靂」の特A評価取得を始め、農林水産品のブランド化も着実に推進

A!Premiumの運用開始

りんごなど農林水産品輸出量・額が増加

【りんご輸出量】H26年産:30,115t(過去最高)